

子どものための ナショナルミニマム・キャンペーン通信

April.2010

子どものための
ナショナルミニマム・
ネットワーク

子どもの育ちの環境改善にむけて、全国各地で
「子どものためのナショナルミニマム・キャンペーン」
が取り組まれています。
私たちの地域から変えていきましょう！ 街頭からも署名が続々と！

4月9日に厚生労働省へ提出する保育所や児童福祉施設の最低基準の改善にむけた署名活動をはじめ、「子どものためのナショナルミニマム・キャンペーン」が各地でも取り組まれました。ここでは、地域からの取り組みを報告します。

Campaign in 奈良

奈良では、1月23日に近鉄奈良駅前で街頭宣伝と街頭署名活動を行いました。当日は、若草山の山焼きの日とあって人も多く、駅前を通行する人たちにビラを配り、署名を呼びかけました。若い子ども連れの人からは「配置基準のことは全然知らなかったけれど、親としてそういうことを知っておかないといけない」となどの反応がありました。1時間ほどの間に162筆の署名を集めることができ、寒い中でしたが、「取り組んでよかった」と参加者から感想が寄せられました。

3月末には、自治労と連合奈良および各種保育団体から2万筆を超える署名を集約することができました。

Campaign in 松山



保育現場が危ない！ 子どもたちの育ちが大人の勝手な都合で阻害されようとしているのは、子ども虐待などの実態からも痛感しています。一方、法律の中での虐待と言っても過言ではないのが今回の規制緩和問題。愛媛では、県内4つのブロックに分けての学習会を開いて問題の分析を行いました。

3月13日には、市民に規制緩和による地域の保育所への、また、子どもたちへの影響などを訴えながら、松山市駅前にてティッシュ・ビラを配布しました。地域住民への署名活動は正直なところ、関心を持ってもらえるだろうかと心配をしていましたが、声をかけ事情を説明すると「保育所にはお世話になっているから」「ニュースで見ました」など、快く受けてくれる人が多かったです。中には「私も保育士なんですけど」と積極的に署名をしてくれた人もいました。

これからも、子どもたちの代弁者として、保育者としてさらに市民とともに運動を進めていきます。

Campaign in 滋賀



滋賀では3月17日、県内JR駅頭9カ所において、ビラ配布とアピール行動を実施し、185人が参加しました。「子育て支援」に関しては、東京の「子どものためのナショナルミニマム・キャンペーン」と連動して、JR近江八幡駅・JR守山駅とJR貴生川駅でビラとティッシュを配布しながら、保育所の最低基準を守ろうと市民に訴えました。

アピール行動では参加者が拡声器をもち、新政権のもと政策転換が期待できる今こそ現場で保育サービスを担っているものの責任として、サービスの提供体制の改善と社会や経済の変化に対応できる仕組みへの改革の重要性を地域住民に訴えました。好意的にビラを受け取り、見入る市民の姿が各駅で見られました。



Campaign in 仙台



仙台では、東北保育ネットワークが中心となり、仙台市内で2010年2月21日、「子どものためのナショナルミニマム・キャンペーンin仙台」を実施しました。当日は、保育関係者など25人が参加し、街頭宣伝やキャンペーングッズを手渡し、保育所の最低基準撤廃反対を訴え、「中央だけの運動にさせない、地方からも声をあげ発信していく」として行動に取り組みました。

街頭行動後は、宮城自治労会館に集合し、集会を開催、約80人が参加しました。集会では、保育をめぐる情勢についての講演があり、また各地での保育運動などの情報交換を行いました。

